

塾と生徒と安全



翔栄学院 田野倉 俊次 代表
東京都あきる野市生まれ
1987年に翔栄学院を開校
現在5教場に700名の生徒を抱える

塾と生徒と安全

最近、小学生誘拐の悲惨な事件が報道されることもあり、子供の安全確保は、学校、塾、保護者の重要な取り組みになってきている。

保護者は外出している子供の所在地が気になる現在、携帯電話などによる位置情報検索があるが、塾が保護者へ提供できるサービスも数社から販売されてきている。塾向け登下校メール送信などがそれだ（株）メディア・リンク・ウェイ佐々木 信輔社長が提供している「塾ナビポイント」を導入した、翔栄学院塾長 田野倉 俊次先生のインタビューを交えながら当システムの特徴を見ていく。

「田野倉先生、塾ナビポイントを導入したきっかけは何でしょうか？」

田野倉先生——以前、他社製品を導入しました。ポイントには生徒には好評でしたが、塾の登下校をメールで保護者に知らせる仕組みにもなっていて、保護者にも好評でした。ところが、この仕組みはデータが全て自分のパソコンにあるが、バックアップや個人情報保護への取り組みが検討課題になりました。また、多くのメールは携帯電話に送るため、携帯電話メール特有のメール遅延が発生し、一時間以上遅れたメールが届く場合が多かったのです。このメールで生徒を迎えるに来る保護者もいるので致命的

な問題でした。そこに、塾ナビポイントの製品を見る機会があり、「携帯電話メールの遅延がほとんど無い」、「データは管理会社のサーバーにあるため安全」、「今までのポイントやメールアドレスや生徒情報を継承できる」など良さそうなので、お試して導入してみました。さらに初期データ入力作業も無償で行って頂けて、スムーズに導入が可能でした。もうひとつ、当学院は、五教場あり、連携した管理をしたかったのですが、「塾ナビポイント」は、どの教場からでも一括的管理ができ、また毎月のランニングコストの負担が少ないことが、導入の大きな動機にもなりました。

「導入後のご感想は如何ですか？」

田野倉先生——メール遅延は無いし、ポイントの加算や付与も簡単で良いと思います。それによく学生がカードを忘れるんですね。この時でも、簡単にWeb画面で処理できるのがとても気に入っています。実はこの機能、私がお願いして追加してもらいました。メディア・リンク・ウェイさんが、システムコンサルティング・開発を行っている会社とあって、ユーザにメリットをもたらす製品作りを行っていると感じています。

「塾ナビのコンセプトとして、“塾と子と親を繋げる”とありますが、具体的にどのような活用していますか？」

田野倉先生——最近、物騒な事件があるためでしょうか、保護者から塾へ来たか？帰ったか？の問い合わせに、教室を探したり、講師に確認していたのですが、現在は塾ナビポイントの本部一括管理機能で、生徒の登下校時刻が一目瞭然です。それに、確実に届く塾ナビ登下校メールも保護者に大好評です。また、アンケートメール機能は重宝します。単にメールだけのやり取りだけではなく、自動で送ってくれる登下校メール、アンケートメール保護者や学生からのメール、カードによる塾からのお知らせ、保護者へのWeb画面サービス、ポイントサービス等など、何と云いましうか、これらが有機的に結びついているんです。この繋がりつつ結構、「イケテル」と思います。

「カード装置はネットワーク接続ですがこの点はどうですか？」

田野倉先生——そうです、ネットワークがあればどこにでも置けます。それに、インターネットの障害の場合でも、という仕掛けが分かりませんが、ちゃんと登下校管理してくれるのが凄いなと思います。あと、生徒が複数の教室にまたがっている場合、どの教室でもどのカード装置でも一枚のカードで管理でき、いつでも何処の教室を出入りしたかで分かるので、受講管理にも活用しています。

「登録実績機能については如何でしょうか？」

田野倉先生——今日来た生徒や来ていない生徒とか、在校中や帰った生徒などの選択ができ、生徒の登下校が簡単に把握できます。一ヶ月出席票も出力できるので、保護者へのレポートに使えます。保護者は携帯電話やパソコンから子供の過去出席状況や、塾からのお知らせなども確認できるので好評です。

「セキュリティについては如何でしょうか？」

田野倉先生——データはすべて暗号化されていると聞いています。また、個人データを自分のパソコンに置くよりも安心感があります。また個人情報保護の取り組みで、スタッフ毎に細かく閲覧設定できるので助かります。塾業界のプライバシーマークへの取り組みとして一歩進んだ感があります。

「最後ですが、塾ナビポイントに今後さらに期待する機能などありますか？」

田野倉先生——いつの間にか便利な機能が増えて、塾ナビは“生きているシステム”と感じています。例えばおかしいかも知れませんが、自動車のカーナビのように、一度使ってしまうともうカーナビが無いと不便でしか



たがない。塾ナビポイントもそんな感じですが。表向きは生徒へのポイントサービスですが、裏側では保護者へのサービスとして大きく貢献しています。この「塾ナビ」は、教材など色々なサービスと連携して行くとの事で、大いに期待しています。我々が驚くような機能が追加されることを楽しみにしています。

「田野倉先生、お忙しい中、ありがとうございます。」

さて、この「塾ナビポイント」は他社に無い一歩進んだシステムだ。サーバーを外部に置くデータサービスやメールサービスのほとんどが、一生徒当たり数百円（100名の生徒がいると、毎月数万円のランニングコスト）が必要なのに対して、「塾ナビポイント」は生徒が何人いようと、一教場あたり毎月980円と負担とはならない。（株）メディア・リンク・ウェイは、「このシステムが少しでも子供への安全意識に役立ち、塾運営の力になれば」とコメントしている。「塾」と子と親を繋げる「コンセプト」を持つ塾ナビシステムの今後が楽しみだ。